

休業手当金請求書

| | | | |
|--------------------------|--|-----------------|-----------------|
| 給付種別 | 230 | | |
| 組合員証記号番号 | 111 — 123 | フリガナ | 共済 太郎 |
| | | 組合員氏名 | 共済 太郎 |
| 組合員生年月日 | 平成 〇〇 年 1 月 2 日 | 資格取得年月日 | 平成 〇〇 年 4 月 1 日 |
| | | 資格喪失年月日 (喪失者のみ) | 令和 年 月 日 |
| 請求期間 | 令和 〇 年 6 月 17 日 から 令和 〇 年 6 月 21 日 まで 5 日 | | |
| 短期標準報酬月額 | 第 17 級 280,000 円 | 休業手当金請求金額 | 28,895 円 |
| 勤務できなかった期間 | 令和 〇 年 6 月 17 日 から 令和 〇 年 6 月 21 日 まで 5 日 | | |
| 勤務できなかった理由 | <p>勤務できなかった理由に該当するものに <input checked="" type="checkbox"/> 印を付してください。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 1. 被扶養者の病気・負傷 2. 配偶者の出産 3. 組合員の不慮の災害 4. 組合員の婚姻</p> <p>5. 配偶者の死亡 6. 二親等内血族、一親等の姻族、その他被扶養者の婚姻・葬祭 7. その他</p> <p>地方公務員等共済組合法第70条第1号～第5号のいずれかに該当したことがわかるよう詳しく記入すること。</p> <p>勤務できなかった理由について具体的に記入してください。</p> <p>私の被扶養者である妻 花子 が令和〇年5月26日より脳梗塞を発病し、現在も療養中であり、その看病及び通院補助のため欠勤した。</p> | | |
| 根拠規定 | <p>地方公務員等共済組合法第70条第 1 号に該当することを証明する。</p> <p>令和 〇 年 7 月 2 日</p> <p>証明者 職名 〇〇市長</p> <p>氏名 〇〇〇〇</p> | | |
| 上記のとおり請求します。 | <p>青森県市町村職員共済組合理事長 様</p> <p>令和 〇 年 7 月 1 日</p> <p>請求者 住所 〇〇市××1-2-3</p> <p>氏名 共済太郎</p> | | |
| 上記の記載事項は、事実と相違ないものと認めます。 | <p>令和 〇 年 7 月 2 日</p> <p>所属所長 職名 〇〇市長</p> <p>氏名 〇〇〇〇</p> | | |

(注) 1 裏面に所属所長又は給与事務担当者の証明を受けたうえ、組合に提出してください。
 なお、報酬の支払いがある場合は、報酬支給額証明書を添付してください。
 2 ※欄は、記入しないでください。

(裏面)

令和〇年6月1日から令和〇年6月30日まで
出勤しなかった期間に対して、次の金額の報酬を支払ったことを証明する。

今回欠勤日数
(勤務できなかった日に□印を付してください。)

| | | | | |
|-----------|---|--------|----------|-----------|
| 令和〇年6月1日 | 間 | (支給割合) | (支給実績) | 169,747 円 |
| 令和〇年6月16日 | | 10割 | | |
| 令和〇年6月17日 | 間 | 0割 | 3,225 円 | |
| 令和〇年6月21日 | | | | |
| 令和〇年6月22日 | 間 | 10割 | 90,225 円 | |
| 令和〇年6月30日 | | | | |

令和〇年6月分

| | | | | | |
|-----|---|----|----|----|----|
| 土曜日 | 1 | 8 | 15 | 22 | 29 |
| 日 | 2 | 9 | 16 | 23 | 30 |
| 月 | 3 | 10 | 17 | 24 | 31 |
| 火 | 4 | 11 | 18 | 25 | |
| 水 | 5 | 12 | 19 | 26 | |
| 木 | 6 | 13 | 20 | 27 | |
| 金 | 7 | 14 | 21 | 28 | |

休業手当金の請求月に対して支払った報酬額を記載して証明
願います。
なお、支払いがない場合は、0割・0円で証明してください。
報酬の支払いがある場合は、「報酬支給額証明書」も提出
してください。

上記のとおり証明します。

令和〇年7月2日

所属 所属 職 名 主 幹
 給与 事務 氏 名 〇 〇 〇 〇

※共済組合使用欄

※報酬との調整

$$(1) \frac{\text{平均標準報酬月額}}{\text{平均標準報酬日額(10円未満四捨五入)}} \times \frac{1}{22} \times 50/100 = \frac{\text{支給割合}}{\text{給付日額}} \times \text{円} \dots (A)$$

$$(2) (A) \times \text{支給対象日数} = \text{支給額} \text{円} \dots (B)$$

$$(3) (B) - \text{控除額} = \text{支給決定額} \text{円}$$

| | | |
|-------------|-------------|-------------|
| 支給開始日 | 前回支給分 | 今回支給分 |
| 令和〇年〇月〇日分から | 令和〇年〇月〇日分まで | 令和〇年〇月〇日分まで |